

災害時にも環境にやさしい

# 災害対応・地域貢献型 高出力太陽光発電システム

和晃技研株式会社



災害対応・地域貢献型の高出力太陽光発電システム。自立運転機能を併設することで、災害発生時に発電した電力を自家使用に変更することができ、自家発電時の大気汚染防止、化石燃料削減に貢献する。さらに、地域貢献用コンセントも設置することで、災害時の地域住民のニーズにも対応可能。高出力太陽光パネルを使用するため狭いスペースで

も効率よく発電することができる。太陽光パネルの基礎にはアルミ製架台を使用して軽量化、設置工事期間の短縮にも成功。トータルコストの削減にも貢献している。

## 災害時にできること

BCP対策	セキュリティ対策	地域貢献
●重要機器	●消防法、防犯	●避難場所
①重要生産設備	①時間発電装置	ライフライン維持
②大型オフィスコンピュータ	②消火システム	●電気のお持ち帰りサービス
③医療機器	③非常照明	
④エレベータ	④防犯システム	
⑤クレーン	⑤ポンプ	
	(上水、冷却、排水)	

## ◆無駄な電力の活用・地域貢献

系統連携盤に自立運転機能を併設。災害発生時には6,600Vの売電用の電気を100V/200Vの自家使用に変更することができ、発電した電気を有効に活用できる。さらに、設置場所が地域の避難場所に指定されている場合は、地域貢献用コンセントを設置することで災害時の地域住民の電気のお持ち帰りのニーズにも配慮。

## ◆効率よく太陽光を吸収

太陽電池のセルのうち、通常より高出力のものが約10%採取できる。このセルだけを集めて高性能パネルを特注製造し、通常の25%アップの300～305Wの出力を実現。

## ◆部材を節約・リサイクル

太陽光パネルを支える架台には、鉄ではなくアルミを使用。鉄を使用した場合の腐食防止の処理工程を省略できるほか、軽量化により設置する建物の鉄骨材の節約ができる。また、防護柵の基礎や太陽光パネル用架台を支える杭には鉄を使用し、設置した用地の返却後にリサイクルを可能にした。

## エコ・トピックス

災害時の自家発電装置としては、ディーゼルエンジン式のものが多い。非常用の発電装置には排ガス浄化装置の設置が義務付けられていないため、非常時にディーゼルエンジン式の発電装置で自家発電を行うと、黒煙とNOxの垂れ流しとなる。大気汚染防止・化石燃料の削減のためには太陽光発電による代替が求められている。

## 和晃技研株式会社

所在地 〒601-8448 京都市南区西九条豊田町26番地

TEL 075-681-6291 FAX 075-681-6297

URL <http://www.wako-kyoto.com/>

E-mail [info@wako-kyoto.com](mailto:info@wako-kyoto.com)